FUJITSU ファミリ会の歩み 50th

業界・社会の動き

1964
- 東京オリンピック開催
- 東海道新幹線開業

東京オリンピック開会式

1965
- （～1970）いざなぎ景気が始まる
- ノーベル物理学賞受賞 朝永振一郎

朝永振一郎 / 受賞式

1966
- 電子工業の年間生産高が1兆円を突破

1967
- 中国に文化大革命起こる
- 人口が1億人を突破

1968
- 国際商業衛星通信開始

1969
- GNPが米国に次ぎ世界第2位に
- 電話加入数が1000万台を突破

1970
- 国産電子計算機の国内シェア過半を超える
- アポロ11号月面着陸に成功
- 日本万国博覧会（大阪）開催

FUJITSUファミリ会の歩み

1964（S39） 1965 1966 1967 1968 1969 1970（S45）

会長 浜野恵一（協栄生命保険（株））｜岡島陽一（三菱自動車工業（株））｜平田克己（日産プリンス自動車販売（株））｜戸谷富士夫（日本火薬（株））｜田辺時郎（明治商事（株））｜片山敬三（呉羽化学工業（株））｜水原一瓢（協和醗酵工業（株））

初代会長　浜野恵一

会報「Family」

FACOM EDP 論文集第１集

1972年度 ハワイ JAIMS にて

1964（S39）
- FACOM ファミリ会設立準備委員会（13社）
- FACOM ファミリ会発足（会員数 37）
- 会報「ファミリ」発刊（年5回）
- 合同専門部会（全国大会）発足

1965（S40）
- 第1回総会開催（東京第一ホテル）

1966（S41）
- 合同研究会発足
- FACOM230-10 分科会発足
- 会報の名称「Family」に変更（年6回）

1967（S42）
- 特別事業として論文集発行企画
- 各種分科会発足

1968（S43）
- ファミリ会ニュース発刊
- FACOM EDP 論文集第１集発刊
- 総会を春季大会に拡大、合同専門部会が秋季大会となる
- 科学技術計算研究会発足

1969（S44）
- 関東/関西/九州/東海/中国/東北支部発足
- 本部事業と支部事業活動を区分
- 秋季大会を東･西日本大会に二分
- 東日本大会（福島）
- 西日本大会（高松）
- EDPユーザー団体連合会（U団連）へ委員派遣

1970（S45）
- 信越/北陸/四国/北海道支部発足
- 東日本大会（伊豆）
- 西日本大会（広島）

富士通(株)の歩み

1964
- （現・SMBC日興証券株式会社）323」を完成、日興証券株式会社に納入
- 日本初のデータ通信システム「FACOM がグループ会社となる（現・株式会社富士通マーケティング）
- 石井通信工業株式会社

1965
- 「FACOM230-10」完成

当初５年間で1000 台受注を達成し、国産ベストセラー機種に

1966
- 電子計算機の量産のため、長野工場を開設
- ICの量産のため、川崎に工場を建設

1967
- 量産のため、会津工場を開設
- 音響機器と半導体部品の
- ニューヨークに開設
- 初めての海外駐在員事務所を
- 富士通株式会社に社名変更

当時のシンボルマーク

1968
- 「富士通研究所」を研究開発の中核として設置
- 明石工場、南多摩工場を開設
- 大ベストセラー機に「FACOM230-60」発売、
- 「全国地銀オンラインシステム」が稼働
- 第一銀行（現・みずほ銀行）に日本初の純国産オンライン預金システムを納入

1969
- クロスバ交換機「C400」を台湾に輸出
- 日本初の海底中継器を電電公社（室蘭～森）に納入
- マレーシアに多重無線通信網（2500km）を完成

1970
- 情報処理システムラボラトリ（蒲田）を開設

1971
- 米アムダール社に資本参加
- 「D10形アナログ電子交換機」の納入を開始

富士通（株）社長　岡田完二郎　1959～1969　｜　高羅芳光

1971
- 日本万国博覧会 / 太陽の塔
- 第一次回線開放
- コンピュータ業界の集約
- 再編成の動き表面化
- 政府、電算機の自由化方針を決定
- ドルショック起こる

1972
- 沖縄返還
- 田中内閣発足

沖縄返還 / 調印式

1973
- 円、変動相場制に移行
- 第一次オイルショック

1974
- 電算機の技術導入自由化
- 三木内閣発足

1975
- 電子計算機の輸入自由化
- 沖縄海洋博覧会開催

1976
- ソフトウェアの100%資本自由化
- 福田内閣発足

1977
- 王貞治選手が通算756本塁打、
- 国民栄誉賞第1号を受賞

1978
- 新東京国際空港（成田）開港
- 第二次オイルショック
- 大平内閣発足

新東京国際空港（成田）

1979
- 電電公社、全国の電話ダイヤル
- 即時通話網を完成

1975 (S50)

1971 1972 1973 1974 1976 1977 1978 1979

小澤昭太郎 横浜ゴム（株）
八木敏夫 日商岩井（株）
小澤昭太郎 横浜ゴム（株）
氏田孝 東レ（株）
大久保和英 古河電気工業（株）
藤井修 小野田セメント（株）

1972年度 韓国支部結成式

祝FACOMファミリ会創立10周年
1974年度 創立10周年記念 総会
来賓として招かれたアムダール社社長アムダール博士（右）と富士通㈱ 高羅社長

1978年度 2,000団体突破記念洋上大学

1,000 会員突破
会員数 1,031

2,000 会員突破
会員数 2,011

1971 (S46)
- 会則全面改訂
- 「FACOMATE-NEWS 発行（月刊）
- 「ファミリ会ニュース」廃刊
- 会報「Family」季刊となる
- 東日本大会（松島）
- 西日本大会（倉敷）

1972 (S47)
- 韓国支部発足
- 1,000 団体突破記念ハワイセミナ
- 東日本大会（鴨川）
- 西日本大会（下呂）

1973年度 創立10周年記念ハワイセミナ

1973 (S48)
- FACOMファミリ会シンボルマーク制定
- 会報特別号（ファミリ会10年誌）の発行
- 創立10周年記念ハワイセミナ
- 東日本大会（会津）
- 西日本大会（別府）

1974 (S49)
- 創立10周年記念式典
- 創立10周年記念総会
- 創立10周年記念情報大学・巡回講演会
- 東日本大会（伊香保）
- 西日本大会（米子）
- 初の論文発表会

1975 (S50)
- 地区別・県別行事の推進
- ハワイトップセミナ定例行事化
- 東日本大会（浜松）
- 西日本大会（宇部）

1976 (S51)
- 沖縄支部発足
- 「FACOM EDP 論文集」と「FACOM EDP 事例集」の二本立となる
- 東日本大会（鳴子）
- 西日本大会（宮崎）

1977 (S52)
- 会報「Family」（季刊）と「FACOMATE-NEWS」（月刊）を統合し「Family」（月刊）となる
- 東日本大会（鴨川）
- 西日本大会（鳥羽）
- 韓国支部でも巡回講演会開催

1978 (S53)
- 2,000団体突破記念式典
- 2,000団体突破記念洋上大学（伊豆七島）
- 2,000団体突破記念所植樹（桜・沼津工場）
- 東日本大会（鬼怒川）
- 西日本大会（別府）

1979 (S54)
- 創立15周年記念式典
- コンピュータ技術交流団派遣（韓国訪問）
- コンピュータ利用技術研究会発足
- 創立15周年記念若者の集い　他開催
- 東日本大会（長野）
- 西日本大会（松山）

1979 年度 創立15周年記念 総会

1972
- 初めて実用化自己保持形リードスイッチを世界での量産を開始
- プッシュホン「600P型電話機」

1973
- 富士通ファナック株式会社を設立（現・ファナック株式会社）
- ハワイに「日米経営科学研究所（JAIMS）」を設立

1974
- 初めて納入（米・スペイン間データ回線）を世界でSCPC方式衛星通信システム
- 汎用コンピュータ「FACOM Mシリーズ」を発表

FACOM M-190 シリーズ

1975
- 初めて輸出、西独－スウェーデン間海底同軸ケーブルシステムを日本で（210km、1200ch）を開通
- 「470V/6」をNASAに納入アムダール社の超大型機

1976
- 沼津工場を開設大型コンピュータの製造のため、
- 1号機を出荷IBM互換機「FACOM Mシリーズ」の

1977
- 「FACOM Vシリーズ」を発表オフィスコンピュータ

1978
- 世界で初めて製品化64KビットDRAMを
- コンピュータ分野で提携独シーメンス社と

1979
- 「JEF」を発表世界初の日本語情報システムコンピュータで漢字を扱える

「JEF」により漢字仮名まじりの日本語処理が可能に

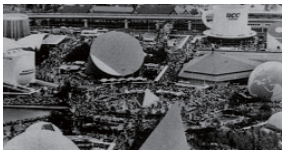
1970～1974　清宮博　1974～1975　小林大祐　1976～1980

FUJITSUファミリ会の歩み 50th

業界・社会の動き

1980
- 鈴木内閣発足

1981
- イラン／イラク戦争
- スーパーコンピュータ計画に参画 国内6社が通産省の
- （神戸）開催 ポートピア'81


ポートピア '81（神戸）

1982
- 第二次回線自由化
- 東北／上信越新幹線開業

1983
- 中曽根内閣発足
- 打ち上げ 実用放送衛星「ユリ2号a」

ユリ２号ａ

1984
- 国債発行残高100兆円突破

1985
- 日本高速通信株式会社が発足 日本テレコム株式会社、第二電電株式会社、
- つくば科学万博の開催

つくば科学万博

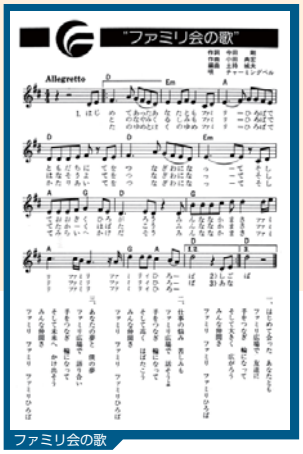
1986
- 電電公社が民営化、NTTが発足

1987
- チェルノブイリ原子力発電所事故 円が150円台突入
- 利根川進教授 ノーベル医学生理学賞受賞
- 竹下内閣発足

FUJITSUファミリ会の歩み

1980（S55） 1981 1982 1983 1984 1985（S60） 1986

後藤勝忠（日本軽金属(株)） 戸田良一（(株)間組） 田所欣治（旭化成工業(株)） 佐藤瑞穂（大成火災海上保険(株)）



ファミリ会の歌

1984年度 創立20周年記念大会

1986年度 ユースセミナ 成果発表

3,000 会員突破
会員数 3,151

1980（S55）
- ファミリ会の歌完成
- U 団連会長をファミリ会が担当
- 管理者セミナ、若者の集い定例行事化
- 東日本大会（仙台）
- 西日本大会（琵琶湖）

1981（S56）
- ユーザニーズ調査委員会、行事検討委員会設置
- 全会員アンケート調査
- 東日本大会（蓼科）
- 西日本大会（倉敷）

1982（S57）
- 韓国支部、韓国 FACOM FAMILY会と名称変更
- 企画調査委員会設置
- ファミリ会運営を支部中心の運営に
- 東日本大会（名古屋）
- 西日本大会（能登）
- U 団連「システム監査講演会」初開催
- 韓国支部を韓国 FAMILY 会に名称変更

1983（S58）
- 代議員総会制となる
- 東日本／西日本大会を全国大会に統一
- 広域行事「マネージメントシンポジウム」
- 「EDP ユースセミナ」開催

1984（S59）
- 小型機会員行事企画委員会設置
- 「FACOM EDP論文集」と「FACOM EDP事例集」を１本化し「FACOM 論文集」となる
- 創立 20 周年記念大会開催
- キャッチフレーズ決定「明日へ翔べ！20歳のFACOMファミリ会」
- 全国大会（箱根）

FACOM 論文集

1985（S60）
- 関東支部２部制試行
- 全国大会（米子）
- 全国アンケート調査（サンプリング）実施

1986（S61）
- 統一テーマによる行事開催
- コンピュータ利用技術研究会を「システム技術研究会」、EDP ユースセミナを「ユースセミナ」と改称
- 全国大会（鬼怒川）
- 小型機会員行事企画委員会開催（合宿）

富士通(株)の歩み

1980
- 富士通研究所、超高速半導体素子
- 「HEMT」の開発に成功
- 「OASYS100」を発表 日本語ワードプロセッサ
- コンピュータ売上高で国内トップに

1981
- 当社初のビジネスパーソナル コンピュータ「FACOM9450」を発表

FACOM9450

1982
- 国内初のスーパーコンピュータ「VP・200／100」を発表

1983
- 世界初、CMOS型256Kビット EPROMを発表

1984
- 三重工場、若松工場を開設
- 企業通信ネットワークシステム「COINS」を発表
- 自動車電話端末の生産を開始
- オフコン市場トップに「FACOM・Kシリーズ」で

1985
- つくば科学万博に単独出展
- 富士通VANサービス「FENICS」の販売を開始

1986
- 新スローガン「夢をかたちに」
- 富士通関西システムラボラトリ開設

山本卓眞　1981 ～ 1989

1988
- 青函トンネル・瀬戸大橋開通
- ソウルオリンピック開催

ソウルオリンピック

1989
- 消費税制導入
- 海部内閣発足
- ドイツでベルリンの壁が崩壊

1990
- 日本人初の宇宙飛行士・秋山豊寛
- 宇宙飛行へ
- 東西ドイツ統一

1991
- バブル崩壊
- 湾岸戦争が勃発
- ソビエト連邦崩壊
- 宮澤内閣発足

1992
- 山形新幹線開通
- バルセロナオリンピック開催
- 毛利衛がスペースシャトルで
- 宇宙飛行

1993
- Jリーグ開幕
- レインボーブリッジ開通（東京都港区）
- 非自民非共産の細川内閣発足

1994
- 羽田内閣発足
- 松本サリン事件
- 村山内閣発足
- 日本人初・女性宇宙飛行士・向井千秋
- スペースシャトルで宇宙飛行
- 関西国際空港開港
- 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞

1990 (H2)

1987 | 1988 | 1989 | 1991 | 1992 | 1993 | 1994

渡辺偉雄 三菱化成（株）

笠川信夫 日石情報システム（株）

沼澤功 横浜ゴム（株）

渡邉嘉佑 （株）コスモコンピュータセンター

1988年度 ハワイエグゼクティブセミナ

4,000 会員突破
会員数 4,062

「Family」通巻150号発行

創立25周年記念新聞広告

5,000 会員突破
会員数 5,015

1994年度 創立30周年記念大会 懇親会風景

1987 (S62)
- 「FACOM 論文集第20集」発刊
- 沖縄で初の全国大会「ユースセミナ」
- 全国大会（金沢）
- 韓国 FAMILY 会創立15周年

1988 (S63)
- 関東支部を3支部（関東・東京・南関東）に分割
- U 団連会長をファミリ会が担当
- ハワイセミナ2回開催
- 全国大会（佐賀/440名）

1989 (S64/H元年)
- 会のスローガン決定「語りあう夢、きそいあう知恵」
- 日本経済新聞に創立25周年記念広告を掲載
- 創立25周年記念大会（千葉/1,800名）
- 全国大会（岩手/589名）
- 「Family」通巻 150 号発行
- 「創立25周年記念誌」を発行
- 創立25周年記念洋上セミナ（三宅島）
- 企画調査委員会設置

1990 (H2)
- 「FUJITSU ファミリ会」に名称変更
- 「ネットワーク研究会」スタート
- 「YUME」フォーラム開設
- 全国大会（新潟/696名）

1991 (H3)
- 「富士通との意見交換会」開始
- 全国大会（岐阜/680名）

1992 (H4)
- 韓国 FAMILY 会によるファミリ会会員企業見学会（以降定例化）
- 全国大会（高知/440名）

1993 (H5)
- 全国大会（鬼怒川/418名）
- 海外セミナー（ラスベガス・COMDEX/ サンフランシスコ/ ハワイ・JAIMS）

1993年度 海外セミナー ハワイJAIMS での講義風景

1994 (H6)
- ファミリ会論文集リニューアル
- 「ラージシステム研究会」が「LS研」に名称変更（リーディングエッジシステム研究会）
- 創立30周年記念大会開催（東京/1,420名）
- 創立30周年記念全国大会（定山渓/580名）
- 海外セミナー（ラスベガス・COMDEX/ サンフランシスコ/ ハワイ・JAIMS）

1987
- 「FMRシリーズ」を発売
- ビジネスパソコン

1988
- 電子交換機「FETEX-150」が稼働
- ISDN商用サービスでデジタルシンガポールにおける世界初の

1989
- 「FM TOWNS」を発表
- 32ビット・ハイパーメディアパソコン
- シンボルマークとロゴタイプを一新

FM TOWNS

1990
- 「M-1800モデルグループ」を発表
- 世界最高速の超大型汎用機
- 英ICL社に80%資本参加

1991
- 当社初の携帯電話「ムーバF」を発表

ムーバF

- 「DS/90 7000シリーズ」を発表
- UNIXコンピュータ

1992
- 発表
- スーパーコンピュータ「VPP 500」を
- 世界最高速のベクトルパラレル型
- 「PROPOSE」を発表
- 情報・通信システムの総合サービス体系

1993
- 発表
- 国際標準パソコン「FMVシリーズ」を
- Windows時代に対応する
- を世界で初めて受注
- 商用ATM交換機「FETEX-150」
- のサプライヤーとして選定され、
- 米国の電話会社よりB-ISDN用交換機

1994
- Infowebの提供開始
- 商用インターネットサービス

関澤義　1990～1997

FUJITSUファミリ会の歩み 50th

業界・社会の動き

1995
- 阪神・淡路大震災
- 地下鉄サリン事件
- PL法施行

1996
- Windows95発売
- 橋本内閣発足
- 「Yahoo! JAPAN」がサービスを開始
- 国内初の商用検索サイト

1997
- アトランタオリンピック開催
- スコットランドで誕生
- 世界初のクローン羊『ドリー』が
- 消費税増税実施(3%から5%に)

1998
- イギリス、中国に香港を返還
- 秋田新幹線・長野新幹線開業
- トヨタ・プリウスが発売
- 世界初の量産型ハイブリッドカー、
- 長野オリンピック開催

1999
- 小渕内閣発足
- Google設立
- 明石海峡大橋開通
- EU加盟国、ユーロ導入を開始

2000
- 森内閣発足
- 沖縄サミット開催
- シドニーオリンピック開催
- 白川英樹が日本人で19年ぶりに
- ノーベル化学賞受賞
- 2000年問題
- iモード発売

2001
- 小泉内閣発足
- アメリカ同時多発テロ事件発生
- 野依良治が日本人で二年連続
- ノーベル化学賞受賞
- 20代の携帯電話保有率が9割に
- ITバブル崩壊

2002
- FIFAワールドカップ
- (JR東日本)
- ICカード乗車券Suica導入

2003
- SARS大流行
- 日韓大会開催
- 帰還の際に空中分解
- コロンビア号が地球への
- スペースシャトル・

1995 (H7) 1996 1997 1998 1999 2000 (H12) 2001 2002 2003

FUJITSUファミリ会の歩み

有本堯史郎 三井化学(株)　片岡義彦 三井化学(株)　田中信昭 旭化成(株)　田中信昭 旭化成情報システム(株)

1997年度 海外セミナー スタンフォード大学キャンパス

1999年度 春季大会

2003年度 春季大会(帝国ホテル)

1995 (H7)
- 全国大会(岡山/812名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ/シアトル)

1996 (H8)
- 全国大会を秋季大会に名称変更
- 秋季大会(沖縄/820名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ/ロサンゼルス)

1997 (H9)
- 会報「Family」リニューアル 双方向ページ建て、表裏一体のパノラマ表紙に
- 秋季大会(金沢/738名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ/ロサンゼルス)
- 西暦2000年問題への警鐘
- ファミリ会ホームページ開設

1998 (H10)
- 秋季大会(神戸/976名)
- リーダー交流フォーラム(名古屋/469名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ/ロサンゼルス)
- 会報Familyは5月号で250号に(年11回発行)

1999 (H11)
- 秋季大会(長野/667名)
- リーダー交流フォーラム(東京国際フォーラム/287名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ)
- 会報Family(年10回発行)

2000 (H12)
- 秋季大会(仙台/746名)
- リーダー交流フォーラム(東京国際フォーラム/321名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ)
- 会報Family(年9回発行)
- 会員専用ホームページ「FAMILY ROOM」を開設

2001 (H13)
- 秋季大会(博多/768名)
- 会報Familyを年6回の発行に変更、「eふぁみり」を開設
- 論文のホームページ掲載開始
- 海外セミナーをアメリカ同時多発テロのため開催中止

2002 (H14)
- 秋季大会(名古屋/948名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ)

2003 (H15)
- 春季大会を帝国ホテルで開催、925名の参加
- 秋季大会(札幌/991名)
- 海外セミナー(ラスベガス・COMDEX/サンフランシスコ)

富士通(株)の歩み

1995
- 「富士通館林システムセンター」を開設
- 42型のカラーPDP(プラズマディスプレイパネル)を世界で初めて商品化

42型カラープラズマディスプレイ

1997
- 米アムダール社を100%子会社化
- 「SOLUTIONVISION」を確立 ネットワークコンピューティングの体系

1998
- 英ICL社を100%子会社化
- 富士通研究所、HEMTにより紫綬褒章を受賞
- NAND型フラッシュメモリを開発

1999
- 独シーメンス社との合弁で「富士通・シーメンス・コンピューターズ」を設立(現・富士通テクノロジー・ソリューションズ)
- サービス「@niftyが誕生 350万会員のメガ・プロバイダー

2000
- 世界最大容量の1.76Tbps光波長多重伝送システムが完成(03年に市村産業賞を受賞)
- 「デジタルムーバF501i HYPER」を発売 iモードサービスの対応1号携帯電話

2001
- 「ムーバF671i(らくらくホンII)」を発売 ユニバーサルデザイン採用の携帯電話
- 「Everything on the Internet」を発表 ステージに向け、事業戦略 ブロードバンドインターネットの新しい

ムーバF671i

2002
- 「富士通コンサルティング」を設立
- 「富士通サービス」 欧州、北米のサービス事業を再編し、

秋草直之　1998～2002

2004
- アテネオリンピック開催

2005
- ニンテンドーDSが発売
- 五千円札は樋口一葉
- 新札が発行。千円札は野口英世、

2006
- 愛・地球博開催
- 中部国際空港開港

2007
- 安倍内閣発足
- ワンセグ放送を開始
- 地上デジタルTVの

2008
- 福田内閣発足
- 新潟県中越沖地震発生
- 麻生内閣発足
- 北京オリンピック開催

2009
- 受賞
- 3人受賞、下村脩がノーベル化学賞
- 史上初となるノーベル物理学賞
- 南部陽一郎、益川敏英、小林誠が

2010
- 鳩山内閣が成立
- 民主・社民・国民の三党による
- 裁判員制度スタート

2011
- 菅内閣(民主・国民連立)発足
- から地球へ帰還
- はやぶさ(探査機)が小惑星イトカワ

2012
- 野田内閣(民主・国民連立)発足
- 停波し、地デジへ完全移行
- 日本の地上アナログテレビ放送が
- なでしこジャパン優勝
- ドイツ大会が開催、
- FIFA女子ワールドカップ
- 東日本大震災発生

2013
- 安倍内閣発足
- ノーベル生理学・医学賞を受賞
- 25年ぶり史上2人目となる
- 山中伸弥が日本人として
- ロンドンオリンピック開催

2014
- 相互利用可能となる
- 交通系ICカード10種類が
- 日本各地で使用されている
- 安倍内閣発足
- 消費税増税8%に
- 中央リニア新幹線が
- 2014年度中に着工予定

2004 | 2005 (H17) | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 (H22) | 2011 | 2012 | 2013 | 2014

岩橋誠
JFE システムズ(株)

横塚裕志
東京海上日動システムズ(株)

下條泰利
サントリーホールディングス(株)

2004年度 創立40周年記念 秋季大会(高松)

2007年度 秋季大会(広島)懇親会

2012年度 秋季大会 沖縄コンベンションセンター

50th Anniversary
交流・共感・感動 ～未来へつなぐ～
会員相互の力をあわせ、未来に向けてタスキをつなぎます。
創設50周年記念ロゴとメッセージ

2004 (H16)
- 創立40周年記念春季大会(帝国ホテル/1,000名)
- 創立40周年記念秋季大会(高松/815名)
- 創立40周年記念特別企画「300会員入会キャンペーン」
- 海外セミナー(ニューヨーク・TECHXNY/カナダ・トロント)

2005 (H17)
- 秋季大会(沖縄/817名)
- 海外セミナー(ニューヨーク・itSMFUSA2005/シカゴ)

2006 (H18)
- 秋季大会(金沢/806名)
- 海外セミナー(ミュンヘン/パリ)

2006年度 秋季大会(金沢)懇親会 大会旗リレー

2007 (H19)
- 今年度よりLS研を統合、新たなファミリ会としてスタート
- 秋季大会(広島/948名)
- 海外セミナー(シアトル/サンフランシスコ)
- ファミリ会論文は今年度より年1回の募集とする

2008 (H20)
- 秋季大会(新潟/857名)
- 海外セミナーを年2回開催(第1回:プラハ/ブダペスト/ウィーン、第2回:ワシントン/サンフランシスコ)

2009 (H21)
- 秋季大会(九州/777名)
- 海外セミナー(ワシントン/サンディエゴ)

2010 (H22)
- 秋季大会(京都/過去最高1,071名)
- 海外セミナーを年2回開催(第1回:上海万博/蘇州、第2回:サンフランシスコ/ポートランド)

2011 (H23)
- 東日本大震災を受け「震災復興支援」をテーマに2011年度を活動
- 春季大会は名称を「震災復興支援特別プログラム」として実施
- 秋季大会(仙台/過去最高1,231名)
- 海外セミナー(サンフランシスコ/シアトル)
- 会報Family(震災に伴い4月発行を見送ったため年5回発行)

2012 (H24)
- 沖縄返還40周年を記念すべく秋季大会を開催(沖縄/969名)
- 海外セミナーを年2回開催(第1回:ソウル、第2回:サンフランシスコ/シアトル)

2013 (H25)
- 秋季大会(名古屋/過去最高1,337名)
- 海外セミナー(サンフランシスコ/シアトル)を年2回開催(第1回:中堅クラス対象、第2回:幹部社員、CIOクラス対象)

2014 (H26)
- FUJITSUファミリ会創設50周年を迎える節目の年として2014年度を活動
- 50周年記念ロゴ、メッセージを作成
- 創設50周年記念 秋季大会(札幌)

2003
- マイクロソフトとグローバル提携を強化
- 試作量産ラインが稼働
- 世界で初めて90nm LSI
- あきる野テクノロジーセンターにて、
- グローバル提携
- ソリューションの分野でレッドハットと
- ミッションクリティカルなLinux
- 新サーバ開発協業でインテルと合意
- ミッションクリティカル領域向けの

2004
- 環境管理の国際規格「ISO14001」の認証を取得
- グローバルパートナーとの戦略提携を加速
- マイクロソフト、シスコをはじめとする
- サン・マイクロシステムズ、

2005
- 「PRIMEQUEST」を発表
- 世界最強の基幹IAサーバ
- 第1棟を稼働開始
- LSI生産拠点、三重工場300mm
- 90nmテクノロジーのロジック

PRIMEQUEST

2006
- グローバル協業を強化
- 独SAP AGとサービス分野で

2007
- 三重工場300mm第2棟を稼働開始
- 65nmテクノロジー対応の

2008
- ソーシング契約を獲得
- 株式会社から5年間のITアウト
- 富士通サービスがアステラス製薬欧州

2011
- 世界一位にTOP500リストで
- 京速コンピュータ「京」が

スーパーコンピュータ「京」

2013
- 実践の場、「Akisai農場」を開設
- 食・農クラウド「Akisai」の検証・

黒川博昭 2003～2007 | 野副州旦 2008～2009 | 間塚道義 2009 | 山本正巳 2010～